

名古屋市図書館所蔵 キモノの本リスト

江戸のきものと衣生活 丸山伸彦／編著 小学館 2007

実物や絵画のカラー写真がふんだんに掲載されているのがわかりやすい本です。今日の着物の原型である小袖は、江戸時代を通してどのように変化してきたのでしょうか。そしてそのように変化していった着物は、どのように生産され、人々の手元に届き、どのような手入れをして使われていたのでしょうか。

江戸時代の流行の変化と、「着る」以外の衣生活をのぞいてみましょう。

江戸衣装図鑑 菊地ひと美／著画 東京堂出版 2011

初期の武家の女の人がどんな格好で外を歩いていたのだとか、中期以降の粋な男の人が煙草を吸っている格好だとか。その時代の社会背景のなかで、どの職業・身分の人がどんな衣服を着ていたのか、生活の一場面をのぞき見てみませんか。

日本画家・菊地ひと美が今日に伝わる数多の江戸時代の絵や着物を描き写して説明しているのですが、この絵がとてもかわいい！！楽しく眺めているうちに、いつしか本の世界に入り込んでしまうことでしょう。

ジャポニスムインファッション 海を渡ったキモノ 深井晃子／著 平凡社 1994

初めて着物を着ている日本人を見た十九世紀後半の人たちの多くが、ドレープの美しさ、エレガントさ、からだを圧迫せず自由であることを着物の印象として見ている一方、その着想法のゆるやかさ、翻ればだらしなさやエロティックな面も見てとっている——(本文172ページより抜粋)

ファッションという視点からジャポニスムの影響を考えた本。最初は異国趣味の一つにすぎなかった「キモノ」が、コルセットからの解放を目指した十九世紀末から二十世紀初頭にかけてのファッションに、そのゆるやかさと、ウエストでなく肩で着る、という構造で影響を与えます。

ビゴー日本素描集 清水勲／編 岩波書店 1986

文明開化した明治の日本はさまざまな風体の人間であふれていたようです。西洋人と変わらない本格的な洋装の男、ちょんまげにわらのコートを着ている男、洋装と和装の混在した格好の男。そして男たちが立場によって大きく異なる格好をしているのに対し、女たちはほとんどが西洋化とは縁のない格好をしていました——。

明治15年に21歳で来日したフランスの画家ビゴーは、帰国するまでの18年間、日本の風刺画を描き続け、明治日本の生活風俗を紙に残しました。明治中期の日本人が何を着てどのように生きていたのか、その一場面が生き生きと描かれます。

ここに紹介した本は、名古屋市鶴舞中央図書館で所蔵・貸出しています(今展示期間中を除く)。

図書館にもぜひお越しください。

中原淳一の「女学生服装帖」

中原淳一／著 実業之日本社 2010

昭和12年。おとなでも子どもでもない、少女が洋服を着るときのお手本が何もなく時代、中原淳一は雑誌『少女の友』で「女学生服装帖」という連載を始めました。単なるファッションの提案にとどまらない、身だしなみやしぐさも含めたトータルな「少女らしい」美しさと教養をはぐくむことを目指した取組みで、当時の少女たちの圧倒的な支持を受けます。

既製服が一般的でなかった時代のこと、洋服は全て作って着ることを想定して提案されており、実際に読者も自分で、あるいは親や知り合いに頼んで作ったものを着たりしたのだとか。当時の裁縫技術の高さと共におしゃれへの情熱を感じる本です。

日本の名随筆 別巻 58 着物 鶴見和子/編 作品社 1995

いろいろの立場から着物について書かれた随筆集です。伝統的な着物文化についての文章があり、農村漁村で働く人たちの仕事着についての民俗学的な文章があり、第二次世界大戦後の着物が日常着でなくなった人たちの文章があり……。

38通りの着物へのまなざしは、職業だったり個人の嗜好だったり、ということが千差万別。もちろん着ていたものも、全然違うのでしょうか。趣味人ばかりが書いているのでないのも、肩が凝らなくてよいのではないのでしょうか。

日本のファッションカラー100 流行色とファッショントレンド1945-2013

日本流行色協会／著 ビー・エヌ・エヌ新社 2014

「今年の流行色は……」とはファッション誌でよく見るフレーズですが、流行色にも時代の傾向があるのだとか。

この本は国民服からファストファッションまで、時代の「気分」をファッションと色という観点から追っていきます。知っているものも「こんなの流行っていたんだ！」と初めて知るような流行もありますが、絵と特徴、そして背景を説明した文章で、ここ70年の流行がわかります。

<そのほか、キモノの本リスト>

カワイく着こなすアジアの民族衣装 森明美／著 河出書房新社, 2004

闘う衣服 小野原教子／著 水声社, 2011

ドレス・アフター・ドレス クローゼットから始まる冒険 中村和恵／著 平凡社, 2014

日本のおしゃれ〈七十二候〉 上野淳美／著 WAVE出版, 2014

ファッション 京都服飾文化研究財団コレクション 第1巻 18・19世紀 深井晃子／監修 TASCHEN, 2010

FASHION 世界服飾大図鑑 キャリン・フランクリン／監修 河出書房新社, 2013

ブルー・ジーンズの文化史 出石尚三／著 NTT出版 2009

文士のきもの 近藤富枝／著 河出書房新社, 2008

鶴舞中央図書館 奉仕第二係 2017年2月発行